

第16号  
2009.9

# たじま 夢つうしん



第5期  
但馬夢テーブル委員会が  
スタートしました!!

## 但馬地域ビジョン ～活力・交流・循環・協働～コウノトリ翔る郷をめざして

但馬の未来を拓く4つのキーワード

『活力』を高める  
～地域の力を集結する～

『交流』を広げる  
～交流人と共に創る～

『循環』を促す  
～自然や文化を活かす～

『協働』の推進  
～共に励まし助け合う～

めざすべき将来像

4つの郷

自立の郷

地域の力を結集した  
「活力みなぎる“たじま”を創る

賑わいの郷

交流人と共に  
「ゆしみあふれる“たじま”を創る

癒しの郷

自然や文化、風土を活かした  
「潤いと安らぎに満ちた“たじま”を創る

慈しみの郷

共に励まし、助け合って  
「活きる喜びを分かち合う“たじま”を創る

めざすべき方向

## ～活力・交流・循環・協働～『コウノトリ翔る郷』

### ビジョンとは?

- 21世紀初頭(少子・高齢化が到来すると思われる2015年頃)を考え、但馬の新しい羅針盤となる、**地域振興の基本的な方向を示すもの**です。
- 但馬地域住民が主体となり、地域のめざすべき将来像とその取り組み方向を明らかにするものです。

### ビジョンの役割とは?

- 但馬の夢の実現に向け、住民自身と行政が共に但馬づくりを進める「**みちしるべ**」です。
- 「私たちの力を集結し」、「地域内外の人たちと手を携え」、「地域の自然を活かし」、「共に行動を起こす」、現実を動かすための行動指針です。

### ～住民参加型地域づくりに向けて～

第5期委員長 藤原 進之助



8月1日からいよいよ井戸県政の第3期目がスタートしました。知事はこのたびの選挙を終えた所感のなかで、改めて広大な県土や多様性を実感されるとともに地域活力の格差解消を痛感し、そのためにはそれぞれの多様な資源を活かした地域にふさわしい地域づくりが必要であり、そのキーワードは「自立」と言われております。

私たち但馬地域ビジョン委員会のメンバー102名が自分たちで考え行動し自立した地域づくりに取り組めば「元気な但馬」の実現に少しでも貢献できるのではないかと期待しております。

そのためには、みなさんの積極的な参加意欲の現れとして、ライフワークでの県民活動の優先順位を少し上位に位置付けていただきまして、肩に力を入れることなく、お互いが楽しみながら実践活動に取り組むことが肝要ではないかと感じております。

谷口県民局長はじめサポートいただく担当部局のみなさんには大変お世話になります。よろしくお願いいたします。





夢ある田舎暮らし応援隊 ～但馬ライフの魅力、私たちが伝えます～

第5期ともなると但馬を元気にしていこう、その具体的な行動につなげていこうという思いが一段と強く感じられます。たじま田舎暮らし情報センターへの相談件数は県内、県外共に、対19年度比2倍以上増えています。さらに着目すべきは、30歳未満、30歳代の若い人からの相談が10倍以上増えているのです。但馬への注目度が確実にアップしています。グループ相互のつながりをより強め、但馬の魅力づくりに実践あるのみです。

活動内容

但馬での夢ある田舎暮らしをサポートしていく活動を行う。  
主立った活動の柱は、但馬で田舎暮らしを実践する人のネットワークを構築し、但馬田舎暮らし情報の発信、田舎暮らし応援活動など。但馬田舎暮らしを支えるNPOの設立を最終目標としている。



活動検討会

リーダー [成相 博昭]

次世代ネット

～但馬チャレンジ!がんばる若者を応援します!～

第4期での経験者に新たにメンバーを加え、若者中心に集まった私たち「次世代ネット」では、活動の基本に立ち返り、「人」に注目していこうと考えています。ひとづくりはまちづくりと言われますが、キーマンとなりうる、頑張っている若者を但馬の中から探しだし、但馬内はもちろん県内・外に広く紹介し、さらにその活動等を後押ししていきます。また、若者の自由なアイデアで、チャレンジ、そして行動していきます。

活動内容

但馬地域で頑張る若者を中心に紹介し、積極的に活動支援することを目標としている。  
・ブースを設けての次世代活動見本市「但馬次世代ショップ(仮)」  
・交流の場づくりや次世代会議(仮)  
・「但馬地域での活動プレゼン大会「但馬ドリームプラン(仮)」の開催も検討中である。  
基本方針としては、次世代を担う頑張る若者の発掘、活動PR機会の場づくり等の検討。



イラスト作 山根 和恵

リーダー [花房 靖裕]

小規模集落元気村プロジェクト ～村は小さくても夢はでっかく!～

「小規模集落元気村プロジェクト」と名付けられた夢テーブル委員5人の小さなグループです。但馬で同じような悩みを持つ地域の現状や取り組みを広く知っていただく、また委員自身も知りながら活動や行動を実践したいと思います。そんな活動から将来小規模集落を含めた但馬全体が本当に少しでも元気になることを「夢」みたいと思います。

活動内容

お互いの村を知り、別の村を知る。そしてそれらを踏まえて、自分たちの村を知ってもらう。また、村と村、村を応援したいという人のネットワークづくり。  
活動目的 「小規模集落同士の情報交換や意見交換の場づくりを進める」また、「小規模集落の取組、小規模集落を但馬の人々に知ってもらうことで、小規模集落だけの問題から地域全体の地域課題として取り組む意識を育む」



活動検討会

リーダー [森 弘之]

但馬の自慢話応援隊 ～もっともっと自慢したっていいじゃない～

我々「但馬の自慢話発信隊」は、我々が住むこの但馬地域が誇れる魅力を再発見し、但馬内外に発信することによって但馬を盛り上げていこう!という思いのもと集まりスタートしました。皆とにかくまず行動!我々が動き、地域の皆様の心が動き、この但馬が活性化へ動いて行ければ最高です。

活動内容

①山陰海岸ジオパーク応援…我々、住民自身がジオパーク応援隊となって、ジオパークを身近で魅力ある地域資源として住民目線で発見、発信していく。  
②川と峠の物語パートⅡ…山間地の小規模集落を訪ね、但馬の風土や生活を体感し発信する。又、伊能忠敬の歩んだ道を尋ね、知られざる但馬の魅力を発見する。  
地域の自慢探し活動…但馬の誇れる魅力、自慢を発見し、但馬遺産として但馬内外へ発信する。  
<ステップアップ方針>  
①ジオパークを知る ②ジオパークを活かすための関連した自慢話を発掘  
③ジオパークを核とした魅力有る地域の自慢話を発信していく。



山陰海岸・今子浦

リーダー [浮田 喜弘]

但馬の民家探訪 ～懐かしい風景の中に、懐かしい家々があり続けます…～

4期の「但馬の民家探訪」続編として今期も活動をスタートしました。掲げる活動目標は前期と同じですが、今期は、民家と一体となっている庭園とその民家が存在している景観にも、着目して調査活動を続けて行けたらと思っています。

もとより、民家は建築物単位として外形的にも内部的にも魅力のある存在ですが、もう少し範囲を広げて、地域景観としての民家を再認識していくことで、数多くの古民家が今後も残ってくれることを願っています。関心のある方が多数、参加されることを期待しています。活動日は、基本的に第3土曜日を予定しています。

活動内容

4期より引き続き100件余りの未調査民家を調査し、古民家価値の活用法、保護方法などを模索する。



古民家



探訪会

リーダー [谷岡 洋介]



森・川・海の循環

～みんなの宝物、森・川・海を守りたい～

私たちのグループは先日、第1回の会議を行い実質的なスタートを切りました。テーマが大きすぎて、まだ方向性を見いだせていないスタートですが、各メンバーそれぞれ夢はしっかりともって頂いておりますので心強く思っています。

但馬の豊かな自然を、訪れる人々に感動を与え、また私たちが安心して暮らせる環境として守り、取り戻す事が大切だと思います。

私たちは大きなテーマを持ってスタートしますが、力まず小さな成果でもみんなが納得できる成果をだせればと思っています。委員会メンバーの皆さんや地域の方々のご協力をお願いします。



清流・竹野川

活動内容

- 身近すぎてあまり気にしていなかった、但馬の環境を一緒に考える機会をつくり出す。
- ①現地での環境調査
  - ②環境調査の実施に伴い、自然環境関連団体との情報交換や交流の場づくりをめざす。

リーダー [杉山 隆一]

但馬の食再発見

～カニ・牛だけが但馬の食じゃない～

このグループに参加して、「食」と「但馬」に対するメンバーの皆さんの熱い思いに驚き感動しています。検討会においても前回、前々回と様々な意見が飛び交い有意義な時間を過ごすことが出来ました。そんなメンバーだからこそ13名の思いが1つ1つ形になっていけば、こんなに嬉しいことはありません。

次回以降、「旬の食材カレンダー」づくりを基に具体的な活動がスタートします。皆さんのご意見・ご参加よろしくお願いします!



活動検討会

活動内容

- 旬の食材、地産地消、郷土食という3つの活動分野を軸とする。
- 「議論+体験+αを基本に活動を展開していく」「生産者と消費者を繋ぐ活動を考える」「ワークショップ、フォーラム、料理教室の実施を検討」「食は100の議論よりも、1回自分で調理して自分の舌で味わうこと」などを基本方針としている。

リーダー [上根 千佳]

但馬パープルネット

～楽しいお祭りはじまりますよ♪～

私たち但馬パープルネットは、自分たちも楽しんで尚かつ、みんなが楽しめる活動を通じて豊かな地域コミュニケーションづくりをお手伝いしていくことをモットーとしています。メンバーの中には、様々な特技をもっておられる方がたくさんいらっしゃいます。ギター弾き語りや、折り紙でいろんな物を作ったり、曲に合わせて体操をしたりなど。

たしかな何かもっています。

生まれたてのグループではありますが、こんな時代だからこそ但馬を元気にしていきたいと思っておりますので、近くでイベントをやる際には、ぜひ参加してください。また、コミュニケーションづくりの応援が必要な場合は声をかけてください。



歌と笑いのパープルネット交流会

活動内容

- コミュニティづくり応援活動や、音楽、芸術ネットワークづくりに焦点をあて活動を行う。
- 活動目的としては、但馬でも薄れつつある地域コミュニケーションを活性化させる触媒役として、歌や音楽などメンバーの特技を活かした活動を展開する。
- 地域で音楽、芸術活動などに取り組む個人やグループ(特に若者)に活動発表の場や、ネットワーク作りの場を提供する。

リーダー [栗田 弘儀]

(仮称)防災・福祉に強い地域づくり

～災害教訓を、活かそう、守ろう、伝えて行こう～

災害は予期なしに起こるものと、あらかじめ予想されるものがあります。

地震・水害のような大規模なものは、救助の手がすぐに届くのは難しい。その時、被災者自身に対応する力があるかどうか、最大の問題点です。

ここに防災と福祉の関連が考えられます。

災害時に要援護者を含めた地域として自立した行動がいかんしてとれるか、というところに行き着くのです。但馬地域では、少子高齢化の増加の一途であり、施設・自治体に頼るだけでなく、地域で対処することを考えなければなりません。それに対応出来る対策を見出すことが、このグループの活動目的です。

テーマが大きく広範囲に及ぶ為、グループ活動を重ねながら、内容の絞り込みとより効果的なポイントを探求していきます。

活動内容

- 1.要援護者の被災体験をまとめ、講演会を開催し、広く知ってもらう活動。
- 2.避難所の状況調査(但馬地域各行政区単位のアンケート形式) 調査結果の公開及び情報提供
- 3.車椅子の体験により、要援護者への避難支援の考え方を確立する。
- 4.災害時の意思伝達のための手話・点字・手旗信号等の講習会を実施。
- 5.避難グッズ、家具の固定化など家庭で出来ることの普及活動。



長寿の郷での車椅子体験

リーダー [小島 義明]





## ～不況に打ち勝つ強い地域に～

第5期副委員長 久保 千賀子

第4期より引き続き副委員長に就任致しました。前期は手探り状態で委員としてのグループ活動は、グループの皆様のお陰で多方面での食に関する活動ができました。その事により、食育など多岐にわたって波及効果があったように感じています。ただ、全体の副委員長としての責務は全うできておらず、委員長をはじめ事務局に頼りっぱなしの状態でした。一期を終え私なりに内容を把握出来、ワクワクするような構想やイメージが膨らんでおります。今期は、グループ活動だけに特化せず、他グループとのリンクやコラボレーションを念頭において活動を進めていければ良いと考えております。

前期までの八年間に積み上げられている先輩方の活動記録を宝物として、有効に活用させていただき、また先輩方とも活動出来るような「知の集結」を図れる活動を目指したいと思っております。

百年に一度の大不況と言われている今こそ、但馬夢テーブル委員会が発信源となって、線と線を面へとつなげられる役割を担いながら但馬地域の底力を一緒に示して参りませんか？

微力ではございますが、精一杯努めて参りますので宜しくお願い申し上げます。

## 第4期委員の活動紹介

第4期委員会の活動報告として提出された資料をここで紹介します。

## ●但馬の古民家探訪グループ

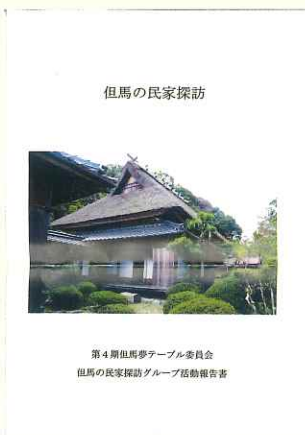
「但馬の民家探訪」冊子編集

平成19年から2年間で合計17回の現地調査を行いました。

一般の方の参加が多く、和やかに活動が行えたようです。

内容は、昔の庄屋と呼ばれる村長のような方が住んでいた家を始め、景観的・建築的に優れた古民家など但馬に存在するさまざまな古民家を訪ね歩きました。

もちろん調査は家主の方のご協力あってのこと、ありがとうございました。



## ●「但馬地域づくり応援ネット」グループ

池田草庵・大石りく・植村直己・斉藤隆夫・山田風太郎……

但馬の地は実に多くの全国的にも、世界的にも有名な人物を育て、後の世の中に大きな影響を与えた素晴らしい人物を紹介した1冊になっています。

また、元気な地域づくりを目指そうと精力的に活動をされていました。

第4期委員長から  
5期委員へのメッセージ

## ～活性化の源、参加力～

5期の活動が始まりました。地域の活性化、安全・安心な街づくりとよく言われますが、それはいろんな要素がそろわないと実現しません。そのためには、皆さん一人ひとりの経験や知識が不可欠になります。まずは皆さんのグループ活動への積極的な参加が実現への第一歩です。

第4期委員長 西垣 義嗣



## 編集後記

## ～情報発信力が但馬力を育てる～

但馬夢テーブル委員会情報誌「たじま夢つうしん第16号」は、委員の方々を始め、各サポート職員の方々、委員会OBの方々にもご協力を得て完成致しました。改めて感謝申し上げます。

さて、第5期但馬夢テーブル委員会も活動を開始してから約6ヶ月たちました。各グループもそれぞれの形で活動をスタートされ今後どのように活動が展開されていくのか非常に楽しみです。しかしながら活動開始当初から言われておりましたグループ相互間や地域の皆さんとの活動連携がまだうまく機能していないという課題も見えてきました。グループ内はもとより、但馬地域の方々に活動を広く知って頂き共に県民行動を進める情報発信力が鍵を握っていると思います。

また、仕事で参加できない、会場まで遠いといった距離の問題などの悩みもあります。そんな悩みの解決策の1つとして兵庫県にはコミュニティ活動支援型SNSサイト「ひよこむ」があります。これはインターネットを介してコミュニティを形成し、さまざまな事についてお話ししたり、議論したりできるサイトです。

「ひよこむ」内には但馬夢テーブル委員会のコミュニティも存在し、また阪神や播磨、淡路、丹波のビジョンコミュニティともリンクしています。「但馬・兵庫県をもっとよい場所に」を合い言葉に親交を深めてみてはいかがでしょうか。

「ひよこむ」への参加を希望される方は、夢テーブル委員会事務局まで、メールでお申込ください。

【たじま夢つうしん第16号】  
編集担当 N.H

## お知らせ

## ビジョン関連行事

## ■ひょうご未来フォーラム

【日 時】平成21年10月10日(土)  
【場 所】但馬文教府

## ■但馬地域夢会議

【日 時】平成21年12月13日(日)  
【場 所】但馬長寿の郷

## 但馬地域行事予定

## ■コウノトリと共生する地域づくりフォーラム

【日 時】平成21年10月10日(土)  
【場 所】豊岡市民プラザ:アイティ7階

## ■ひょうごエコフェスティバル2009

【日 時】平成21年11月14日(土)～15日(日)  
【場 所】但馬ドーム

## ●但馬夢テーブル委員会に関するお問い合わせは下記までご連絡ください●

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町7-11 但馬県民局内 但馬夢テーブル委員会事務局(総務室地域企画課)

TEL:0796-26-3615 FAX:0796-24-7490 URL:<http://web.pref.hyogo.lg.jp/area/tajima/vision.html>